

【格付け維持】 中日本高速道路

第1回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
第2回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
第3回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）
格付け：AAA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付けを公表しました。

【格付け維持の理由】

中日本高速道路が道路建設資金調達を目的に発行した社債（一般担保付）に対する長期個別債務格付け。当該社債は、建設期間中は同社の負債だが、調達した資金で建設された高速道路資産が日本高速道路保有・債務返済機構(機構)に帰属すると、資産とともに機構に引き継がれる。機構へ債務を引き渡すスキームが確実なうえ、災害の発生や、関連事業等の不振で同社自体の経営に問題が生じるなどにより、道路建設に支障を来たしても道路建設債務は機構（間接的には国）によって保護される可能性が極めて高い。このため、当該社債の元利払いの確実性は引き渡し前であっても機構の信用力（発行体格付け＝AAA）に帰着すると判断し、機構と同じ格付けにしている。なお、道路特定財源は機構の信用力を支える一つの要素として考えており、暫定税率の見直しなど道路特定財源の見直しが続いている点はチェックポイントである。引き続き国会での審議の状況等を見守っていく。

中日本高速道路は道路関係4公団民営化で発足した高速道路会社6社中の1社で、機構と結んだ協定に基づき愛知県など1都11県における高速道路の新設、改築、維持、修繕などを手掛けている。首都圏と中部、近畿圏をつなぐ東名高速道路、中央自動車道など基幹道路を管理・運営しており、料金収入を生み出す事業基盤は強固である。機構との協定に基づき、新東名高速道路など456キロメートルを建設中。なお、東海北陸自動車道については難工事となったため、完成が当初予定の2007年度末から2008年7月頃に延びる。高速道路事業全体の収支に与える影響は小さいと考えているが、工事費が債務引受限度額を超過する可能性などを慎重に見守る。

関連事業は休憩所など自社で管理する高速道路周辺で展開し、収入が安定して入る事業が主体で、高速道路事業に比べ事業規模が小さいこともあり、今のところリスクは限定的である。

【格付け対象】

発行者：中日本高速道路

名称	発行総額 (百万円)	発行日	償還日	格付け
第1回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）	25,000	2007年3月13日	2014年3月20日	AAA（維持）
第2回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）	20,000	2007年10月11日	2014年12月19日	AAA（維持）
第3回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）	30,000	2007年10月11日	2017年9月20日	AAA（維持）